

令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「中学生チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪府中学生3年生統一テスト」の調査の目的

- (1) テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

4 「大阪市英語力調査（英検IBA）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟課程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

5 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	146	66	54	52	2.5	7.1	5.8
	大阪市	—	70	57	54	3.5	8.8	6.7
4月18日	全国	—	72.8	59.8	56.0	2.6	7.3	6.0

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	147	52.4	43.6	49.3	48.1	40.0	6.6	5.9	13.8	4.5	4.9
	大阪市	—	56.6	45.9	52.5	47.4	46.2	6.0	6.0	13.2	5.9	5.4
	6月19日 大阪府	—	57.1	46.2	53.5	47.7	47.0	6.2	6.2	13.2	6.2	5.2
2 年	学校	134	45.4	46.5	52.7	40.9	44.0	12.9	5.4	10.1	7.9	5.3
	大阪市	—										
1月9日	大阪府	—	51.1	49.8	59.6	48.8	54.9	9.0	5.9	8.2	6.6	3.9
1 年	学校	—	57.4	50.3	43.2	48.2	50.9	10.3		11.7		4.3
	大阪市	—		54.3		54.3						
1月9日	大阪府	—	64.9		48.8		57.5	6.9		10.6		3.2

※ 1年生の社会・理科については、「中学生チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

3 大阪府中学校3年生統一テスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
3 年	学校	149	65.5	50.5	59.0	51.9	67.0
10月3日	大阪市	—	67.9	51.7	61.6	55.2	68.3

4 大阪市英語力調査 (英検IBA)

学年 実施月日		生徒数 (人)	語い 熟語 文法 (%)	読解 (%)	リスニング (%)	英検3級 LV以上 (%)	英検4級 LV以上 (%)	英検5級 LV以上 (%)
3 年	学校	147	57.3	47.8	49.1	40.1	—	—
10月21日	大阪市	—	61.5	55.0	54.6	54.0	—	—

5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャト ルラン	持久走 1500m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	139	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	28.11	25.61	35.56	45.26	73.25		8.13	183.61	19.60	35.81
	大阪市	28.76	27.63	41.41	51.68	82.53		8.11	192.16	20.17	41.04
	全 国	28.65	26.96	43.50	51.91	83.53		8.02	195.03	20.40	41.69
2 年 女 子	学校	23.55	25.31	40.28	42.76	53.48		9.15	150.51	11.63	43.74
	大阪市	24.12	24.15	45.67	47.38	58.40		8.92	169.36	12.99	50.13
	全 国	23.79	23.69	46.32	47.28	58.31		8.81	169.90	12.96	50.22

令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

《成果と課題》

○全国学力・学習状況調査結果より

【国語】全国・大阪市の平均正答率と比較して、それぞれ－6.8P、－4Pの差がある。「書くこと」領域では、大阪市の平均を上回っているが、「読むこと」領域では、－5.9Pの差がみられる。

【数学】全国・大阪市の平均正答率と比較して、それぞれ－5.8P、－3Pの差がある。「図形」領域では、大阪市の平均を上回っているが、「数と式」領域では、－6.1Pの差がみられる。

【英語】全国・大阪市の平均正答率と比較して、それぞれ－6.0P、－2Pの差がある。全ての領域で、大阪市の平均から－4P以内の差に収まり、「書くこと」領域では、－1.7Pの差であと少しである。

全ての教科において、「平均無回答率」は、全国・大阪市の平均を下回り、あきらめずに取り組むひたむきな姿勢がうかがえる。

○中学生チャレンジテスト(3年生)より

＜成果＞

平均点は大阪府と比較して、【国語】－4.7P【社会】－2.6P【数学】－4.2P【英語】－7.0Pと概ね低い値となっているが、【理科】においては、平均点が大阪府・市を上回り頑張りが見られた。

＜課題＞

特に、【英語】では、大阪府・市の平均点と比較して、それぞれ－7.0P、－6.2Pの差がみられ、大阪府平均の5～6割しか得点できない生徒が21人(13.8%)と特徴的であった。「正確に情報を読み取り、まとまった英文を書くことに課題がみられた。」

○大阪市中学校3年生統一テストより

＜成果＞

平均正答率は大阪市と比較して、【国語】－2.4P【社会】－1.2P【数学】－2.6P【理科】－3.3P【英語】－1.3Pと大阪市平均には届かなかったが、特定の教科で差が大きく出ることにはなかった。

＜課題＞

理科において、6月のチャレンジテストでは府平均を上回ったが、今回は、5科で最も差があった。分野によって差が見られた。

○大阪市英語力調査(英検IBA)より

＜成果＞

アンケートで英語が好きかとの質問に肯定的な回答の割合が昨年度と比較し＋19Pであった。

＜課題＞

英検3級レベル以上の割合が、大阪市と比較して、－13.9Pの差があった。特に読解に課題があった。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplusより

＜課題＞

平均正答率は大阪府と比較して、1年生は、【国語】－7.5P【社会】－4.0P【数学】－5.6P【理科】－6.1P【英語】－6.6Pであった。同様に2年生は、【国語】－5.7P【社会】－3.3P【数学】－6.9P【理科】－7.9P【英語】－10.9Pで、低い値となっている。基礎基本の定着に課題がある。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

＜課題＞

男子は8種目すべて全国平均値を下回り、女子は8種目中7種目において全国平均値を下回った。授業改善とともに生活習慣も含め、効果的な課題解決が必要である。

《今後に向けて》

「全国学力・学習状況調査」における、【生徒質問紙】の回答から、

⑤「自分にはよいところがあると思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する生徒の割合が、82.6P。

⑦「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいませんか」の設問に対して、肯定的に回答する生徒の割合が、93.3P。

⑩「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する生徒の割合が、80.5P。

⑫「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する生徒の割合が、88.0P。

それぞれ、大阪市の平均より10P以上高く、全国の平均をも上回っている。また、経年的にみても高い値となっており、当該学年学年生徒の特長である。

上記、3つの設問は、独立したものではなく、⑤⑦⑩の結果が、⑫の結果に表れていると考えられる。

しかしながら、⑬の家庭での1日の学習時間を問う設問に対し、「1時間以上」と回答する生徒の割合が61.05Pと大阪市・全国の平均を下回っている。例年低い値になっており、本校の課題となっている。

上記結果は、それぞれが独立したものではなく、【生徒質問紙】⑤⑦⑩⑫の結果が、⑫の結果に表れていると考えられる。

また、⑬の結果が、【教科に関する調査】結果に大きく影響することは、十分予測できることである。

学校全体として、引き続き授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上につながる授業改善に取り組む必要がある。

また、自己肯定観を育成する取組みを継続して推進する。

中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplusより、1年生・2年生ともに基礎学力に課題を残す結果となった。本年は、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践およびICT活用を研究し、「大桐中授業モデル」を策定した。次年度以降、「授業モデル」をベースに学力向上に取り組んでいく。

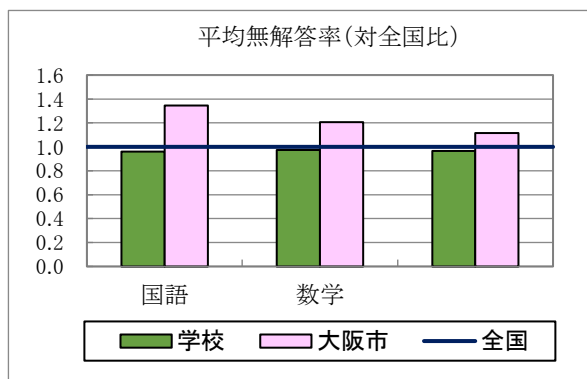
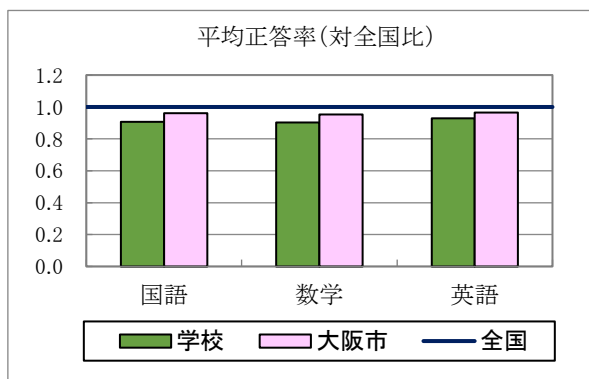
令和元年度 大桐中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

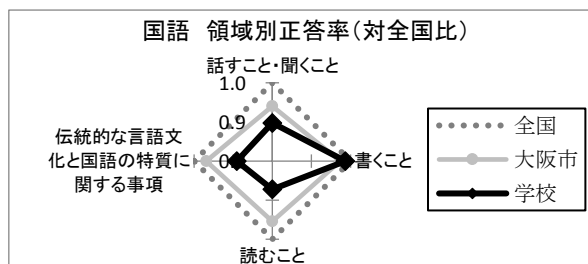
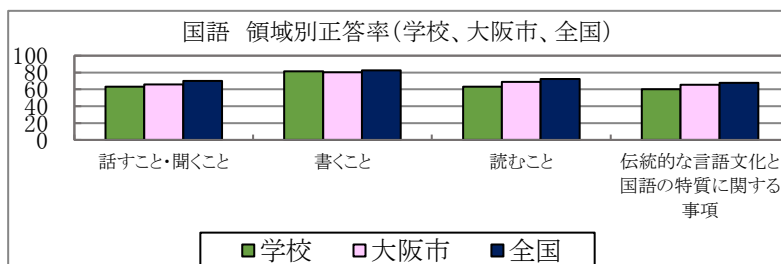
	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	66	54	52
大阪市	70	57	54
全国	72.8	59.8	56.0

	平均無解答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	2.5	7.1	5.8
大阪市	3.5	8.8	6.7
全国	2.6	7.3	6.0



【 国 語 】

学習指導要領の 領域等	対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	63.0	66.0	70.2
書くこと	2	81.5	80.4	82.6
読むこと	3	63.0	68.9	72.2
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	2	60.3	65.6	67.7

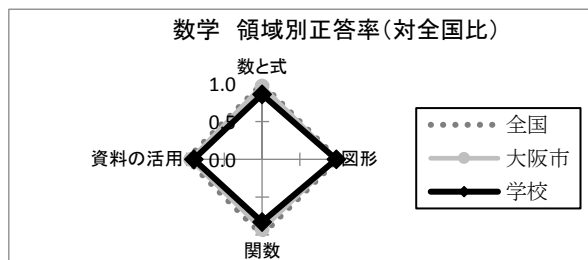
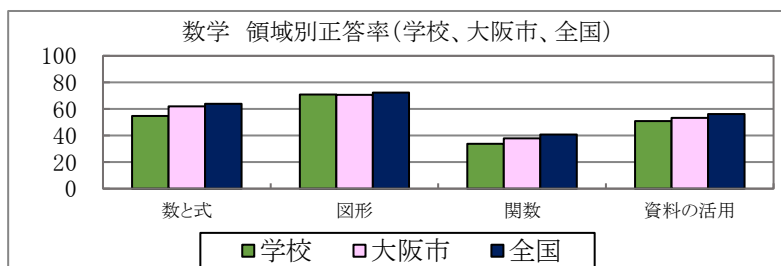


令和元年度 大桐中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

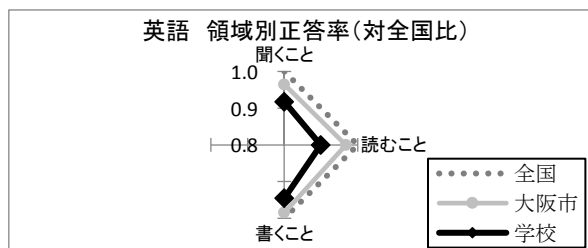
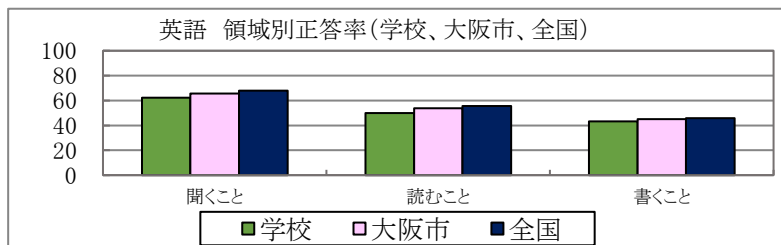
【 数 学 】

学習指導要領の 領域等	対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	54.8	61.9	63.8
図形	4	70.9	70.6	72.4
関数	3	33.8	37.8	40.8
資料の活用	4	51.0	53.3	56.3



【 英 語 】

学習指導要領の 領域等	対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
聞くこと	7	62.3	65.5	67.9
読むこと	6	50.0	53.8	55.6
書くこと	8	43.3	45.1	45.8



令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

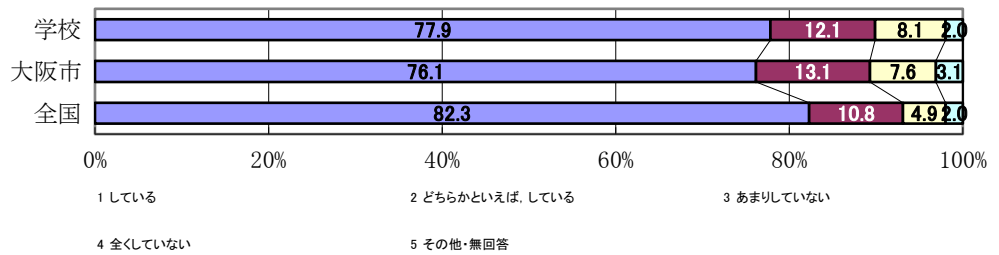
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

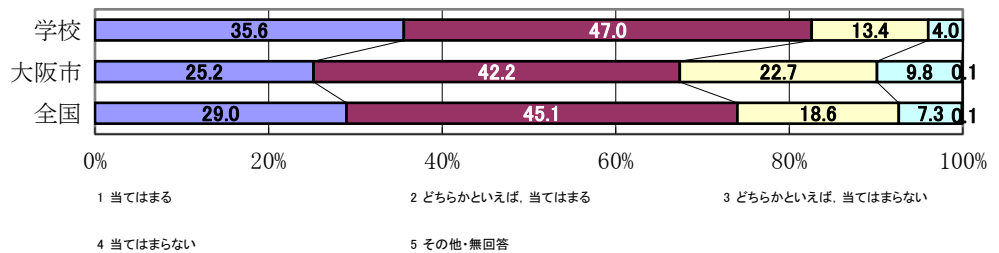
1

朝食を毎日食べていますか



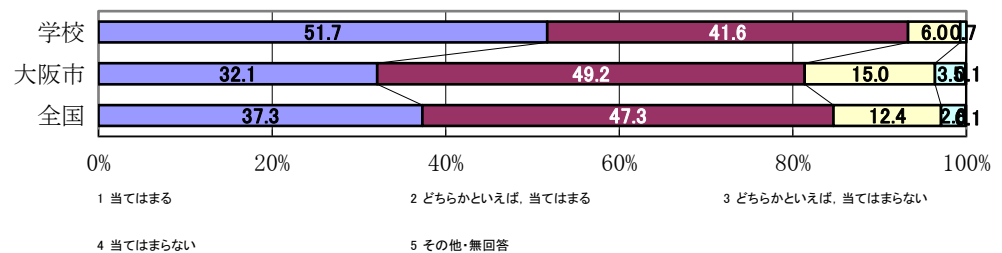
5

自分には、よいところがあると思いますか



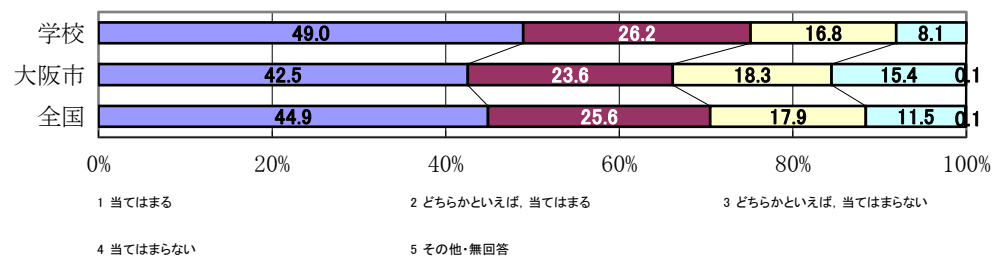
7

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



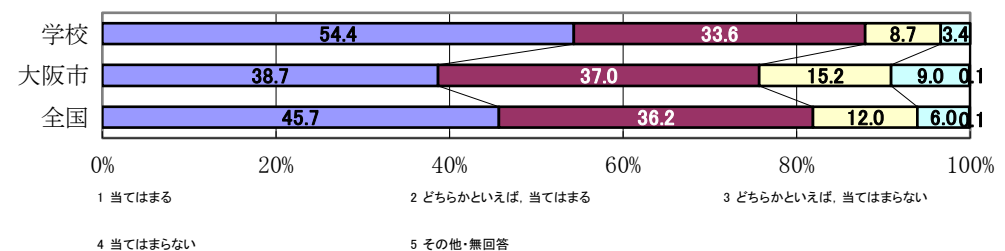
8

将来の夢や目標を持っていますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

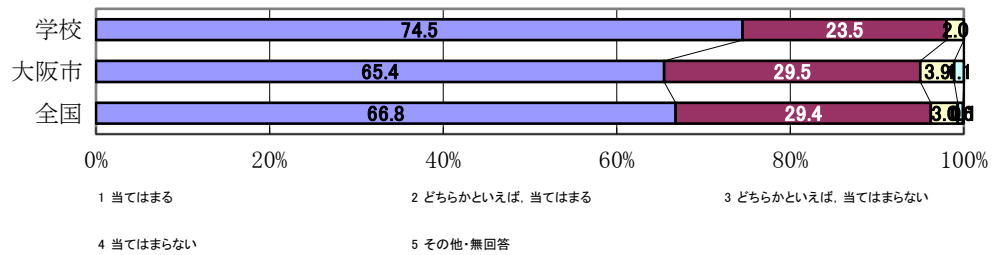


質問番号

質問事項

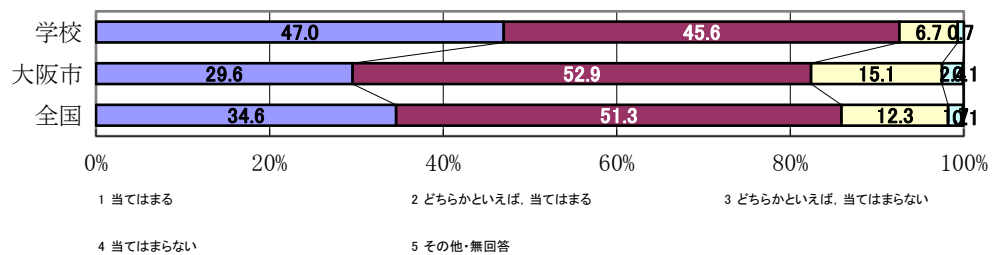
13

学校の規則を守っていますか



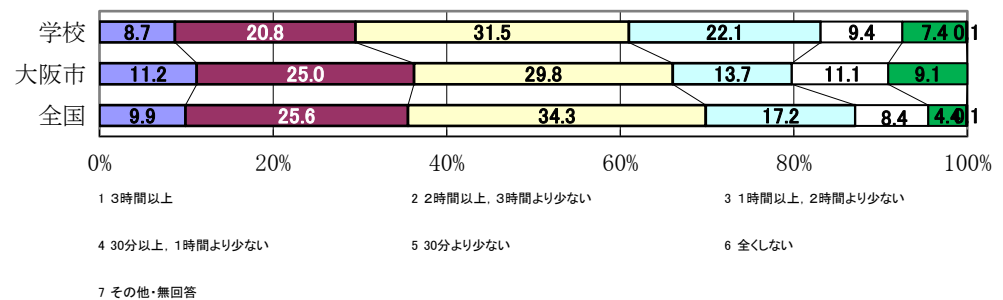
14

人が困っているときは、進んで助けていますか



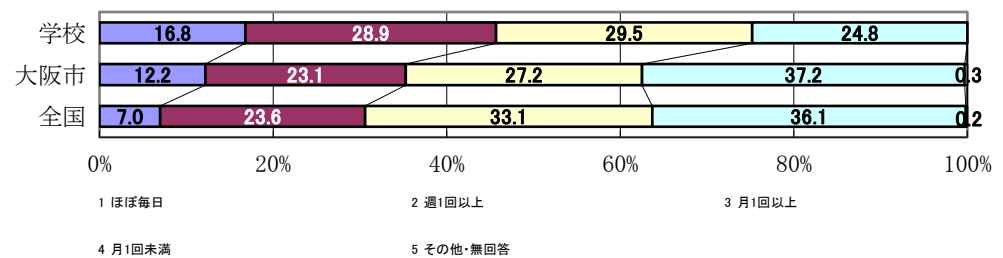
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間も含む)



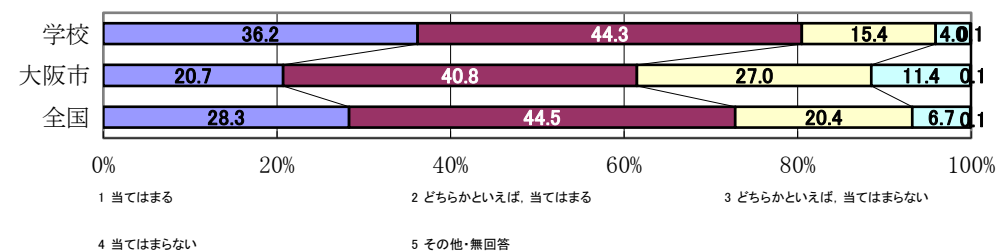
30

1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



32

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



令和元年度 大桐中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

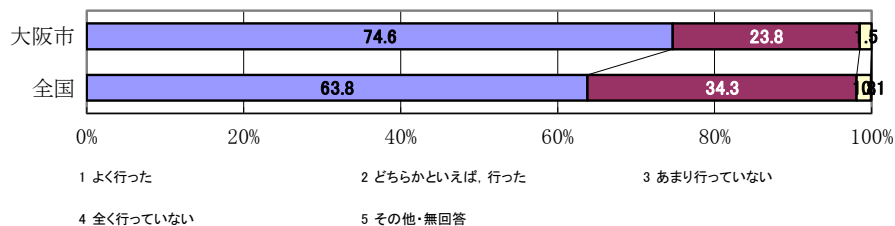
質問番号

質問事項

13

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか

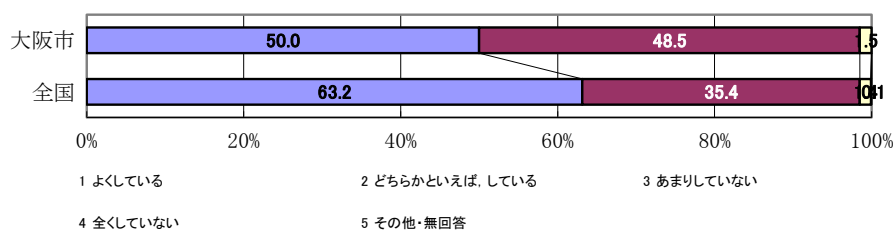
学校「よく行った」を選択



23

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

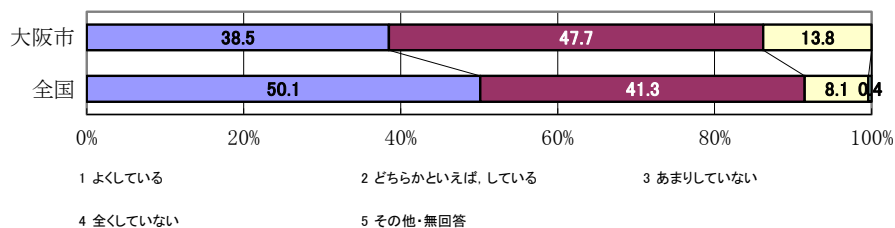
学校「よくしている」を選択



24

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

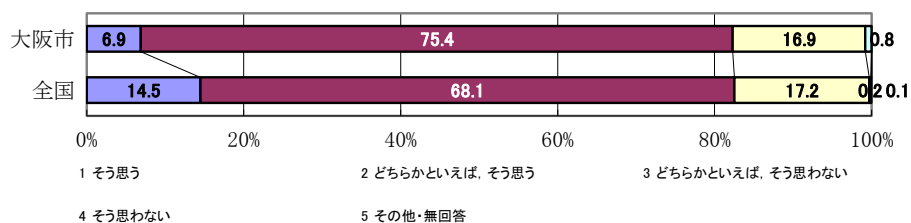
学校「よくしている」を選択



33

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか

学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



63

調査対象学年の生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校「ほぼ毎日」を選択

